



## 焼きそばおいしいよ！

校長 田中 秋人

8月も残すところわずかとなり稲穂も心なしか色づきはじめてるようにみえます。また、トンボも多く飛ぶ姿を見ることができ、季節の移り変わりを少しは感じるようになってきました。しかし例年暦の上では秋となっているこの時期になると朝夕、少しは涼しく感じることもあったはずなのですが、今年の夏はまだ暑さが厳しい日々が続きそうです。過ごしやすい秋を感じられる日はいつになるか心配になってきます。本日夏休みが明け、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。元気な明るい声を聞いていると日々の学校生活とは違う経験を通して、様々な成長や新たな気づきがあったことを感じられました。個々の夏休みでの成長や気づきを大切にしながら学校教育活動を進めていきます。



校庭に新しい砂を入れました。  
校庭も準備万端です。

さて7月下旬には舞岡第二町内会が本校の校庭で、8月上旬には舞岡第一町内会が舞岡中学校の校庭でそれぞれ地域行事が開催され、私も参加をさせていただきました。今年は新型コロナウイルス感染症のため4年ぶりの開催となったそうです。そのため、昨年度着任した私にとっては、舞岡地区での初めての参加になりました。どちらの会場でも本校に通っている子どもがたくさん参加をしていました。場内を歩いていると子どもが私を見つけると寄ってきてくれました。そして「校長先生、ここの焼きそばってとてもおいしいんだよ。先生も食べてみてね！」と焼きそばを勧められました。またある子には「校長先生、私子ども会でお店の手伝いをしているから買いにきてね。」と言われることもありました。この何気のない会話から子どもは、イベントを生き生きと楽しんでいる様子を見ることができました。そのような子どもたちと触れ合っているとみんなが子どもを支える環境がここにはあるということ強く再認識させられました。イベントを実施するには多大なる力が必要です。子どもの笑顔のためにここまでの間にたくさんの保護者の方々や地域の方々暑さの厳しい中、この行事に向けて準備をされてこられたことと思います。その準備があったからこそ、子どもの笑顔に出会えたのだと感じました。また9月には、舞岡第三町内会でも地域行事が行われると聞いています。子どもたちに会い、学校では見ることができない一面に触れられることを楽しみにしています。

地域行事に参加する子どもたちの様子を見て、日々の学校教育はたくさんの方々の支えの上に成り立っていると改めて実感しました。子どもが迷い悩んだ時には、保護者、地域の方々、そして学校と3者が一体となって地域の宝である子どもたちを支えていく必要性を強く感じています。子どもにかかわる人すべてが子どもの声に耳を傾け、寄り添うことで子どもは安心して成長することができます。舞岡のまちの舞岡小学校としてこれからも子どもに寄り添い、笑顔溢れる学校にしていきます。8・9月も残暑に負けない、熱いご支援とご協力をお願いいたします。